



学校だより

令和6年12月24日

東京都立小平特別支援学校

校長 鈴木 愛

肢体不自由教育部門・病弱教育部門(病院訪問部) 〒187-0035 小平市小川西町 2-33-1 TEL 042-342-1671

病弱教育部門(センター病院内分教室部) 武蔵分教室 〒187-0031 小平市小川東町 4-1-1 国立精神・神経医療研究センター病院内
TEL 042-344-4537

街にジングルベルのメロディーが流れ、いよいよ令和6年も残りわずかとなりました。児童・生徒の皆さんにとって、また保護者の皆様にとって、今年はどうな1年だったでしょう。私にとっては、小平特別支援学校の皆さんと出会い、充実した年になりました。

さて、小平特別支援学校では、地域の学校や関係機関をはじめ、様々な方々との連携、交流を通じた体験的な学習活動を大切にしています。今回はそんな活動を御紹介いたします。



● 小平十三小学校との図工コラボ活動 (小学部)



ブリヂストン・イノベーション・ギャラリー

11月7日、本校のアリーナにおいて、小平第十三小学校の4年生と肢体不自由教育部門小学部高学年の児童が共同作品「つながれ、みんなの樹！」の制作に取り組みました。大きな紙に描かれた木の幹の上に、両校の児童がワイワイと協力しながら、思い思いに「葉っぱ」「実」「動物」「音符」などを貼り付け、6本の個性的な木が完成！この活動には地元の武蔵野美術大学や(株)ブリヂストンの皆様も協力してください、完成した作品は本校の作品展や十三小の展覧会のほか、ブリヂストン・イノベーション・ギャラリーにも展示され、広く一般に公開されました。

● 明治学院東村山高校との交流活動 (高等部)

11月19日、近所の明治学院東村山高校と肢体不自由教育部門高等部との初めての学校間交流が行われました。明治学院からは高校3年生の生徒9名が来校し、ポッチャを通じた交流活動や高等部生徒会・準ずるグループの生徒とのフリートークを行いました。ポッチャでは、明治学院の生徒がごく自然に、高等部生徒をやさしくサポートする姿が見られました。また、フリートークでは「推し」の話題で盛り上がり、高等部の男子生徒から「どうしたら女の子にモテますか？」という質問が飛び出したりして、同世代同士の楽しい交流となりました。



フリートーク

● 「ふれる・もつ・かんじる展」東京学芸大学との交流 (病弱教育部門)



ふれる・もつ・かんじる展

武蔵分教室では、9月に東京学芸大学美術科の学生が来校し、児童・生徒と一緒に紙粘土を使った「あまつぶモバイル」作りに取り組みました。この時の作品をはじめ、武蔵分教室や病院訪問部の児童・生徒の図工や美術の作品が東京学芸大学の「ふれる・もつ・かんじる展」に展示されました。そして11月27日、学芸大学の展示会場と分教室や各病院の病室をオンラインでつなぎ、リモート校外学習が行われました。子供たちは、自分たちの作った大切な作品がきれいに展示されている様子を、学芸大の学生さんの案内で楽しそうに鑑賞していました。

● 韓国釜山ソウウ学校とのオンライン交流 (中学部)

12月17日、肢体不自由教育部門中学部Bグループでは、初めての試みで、韓国の釜山ソウウ学校(特別支援学校)と学習グループの教室をオンラインで結んでの国際交流を行いました。Bグループの生徒が「ふるさと」の歌を披露したり、ソウウ学校の生徒たちの韓国ダンスに合わせてみんなで踊ったり…。自己紹介や質問コーナーではポケモンや芸能人の話で盛り上がる場面も。はじめは緊張気味だった生徒たちも、時間とともに次第に打ち解け、国や言葉の壁を越えて楽しく貴重なひと時を過ごしました。



韓国とのオンライン交流

校長 鈴木 愛



冬季休業中の学校への連絡は、以下の電話番号をお願いいたします。

東京都立小平特別支援学校 042-342-1671 武蔵分教室 042-344-4537

【副校長・学校携帯】(土日及び年末年始)

080-3248-6604(小学部・訪問部) 080-3426-4502(中学部・高等部) 090-9840-3741(病弱教育部門)